

パノラマのどこに魅力を感じるのか

町民の姿勢や、支え等が判断材料

質問 民営化に対して企業は、収益価値や魅力をどこに感じていると考えるか。

答弁 グリーンシーズン

での営業状況は、計画の95・3%。対前年比では、3年連続上回っていますので、現段階では目論見に近い状況です。

開発公社に対しては財政支援の他、当面の経営支援強化の取り組み、再建策に沿って進めています。

今のところ、引き受け

てくれる企業はまったくありませんが、長い目で見て興味を持ち、山の持つ魅力、自然資源、立地的な面での日帰り観光、冬にノーチェーンでこれる、日照率の高さ、

町民の姿勢や支え等が判断材料となっていると言われています。

今後、東急リゾートサービスとは、調査を含むコンサルティングをしながら、一緒に研究するということです。

○その他の質問事項

- ・環境対策
- ・来年度予算
- ・2007年度問題
- ・町政全般

について



三井幹人 議員



利用者を迎える「すずらん号」

利用者の利便性を図る考えは

提案は、運行委員会につなげる

質問 すずらん号の利用者が増えている中で、利便性の向上や安全性の確保を図るため、補助金を増額してでも時間の延長や4台で運行する考えは。

答弁 現段階では補助金の増額をする考えはありません。

すずらん号運行委員会からは、利用者に理解と協力をお願いしながら、現行の3台で安全を最優先したいとの連絡を受けています。

提案の時間延長、台数共に運行委員会におつなぎします。

○その他の質問事項

- ・清泉荘機能回復公園
- ・信濃境・田端線

について



平出英夫 議員